

各 位

令和 6 年度稲作情報 第 6 号について

このことについて送付しますので、業務および水稻栽培の参考にしてください。

令和 6 年度 稲作情報 第 6 号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1. 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を 6 分割。1 半旬は 1~5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成 22 年~令和 2 年(11 か年)の平均値

月	半旬	平均気温 (℃)		最高気温 (℃)		最低気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6
5	4	19.4	19.3	24.3	26.4	15.0	12.9	22.2	0.5	35.5	59.0
	5	19.9	20.2	24.8	25.4	15.7	17.0	17.8	0.0	34.0	28.2
	6	20.4	19.7	25.0	25.2	16.5	14.9	18.5	87.5	37.1	30.3
6	1	20.9	19.4	25.2	24.8	17.3	15.5	18.2	0.0	27.3	47.5
	2	21.4	21.5	25.4	26.6	18.2	18.4	27.2	20.0	24.5	21.7
	3	21.9	24.1	25.7	30.1	19.0	20.0	40.5	0.0	22.3	47.5
	4	22.4	22.9	26.1	28.6	19.6	19.1	54.5	102.0	20.6	27.5

6 月 3 半旬の平均気温は平年より 2℃程度高く推移した。降水は見られず、日照時間は平年の 2 倍以上と長かった。6 月 17 日に梅雨入りが発表された(平年より 13 日遅い)。6 月 4 半旬の平均気温は平年並みで、降水量は平年の 2 倍近くと多かった。晴れ間もあったため、日照時間は平年よりも長く推移した。

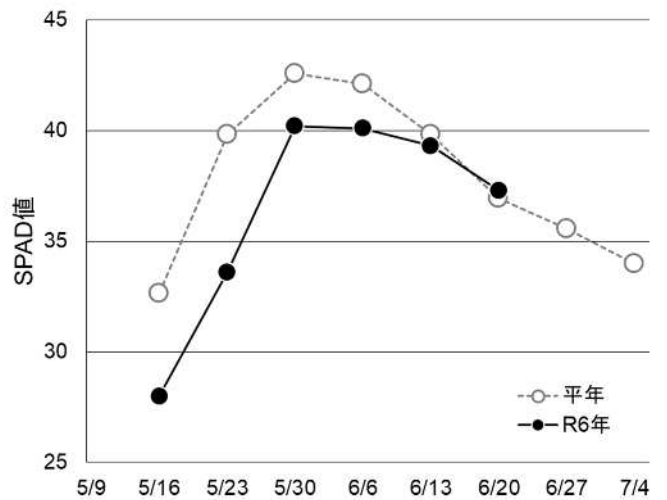
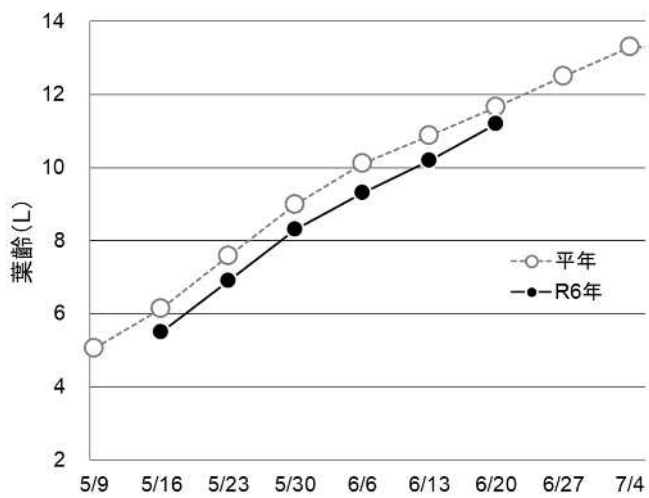
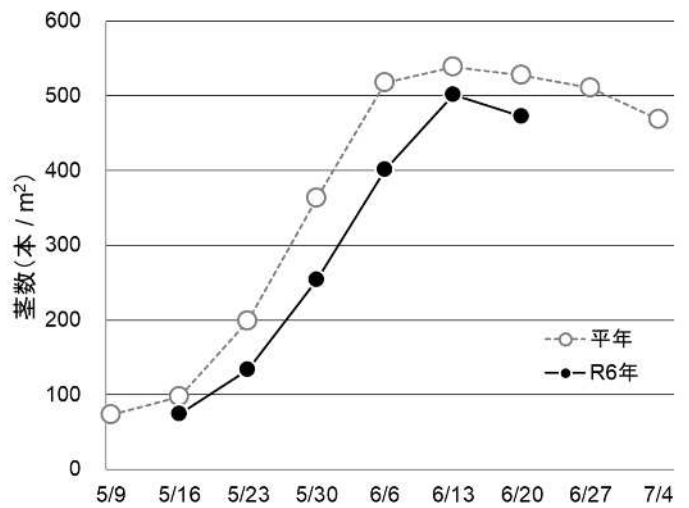
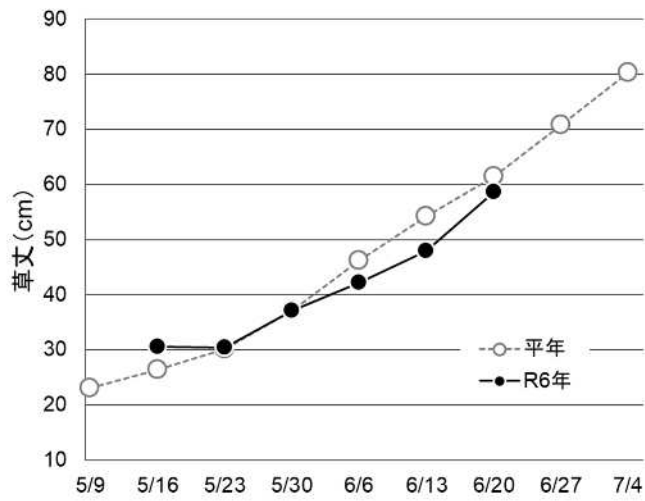
2. 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4 月 25 日移植 17.0 株/m²(56 株/坪)

(6 月 19 日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	58.6	62.9	61.4	93	95	やや低い
茎数(本/m ²)	473	490	528	96	90	やや少ない
葉齢(L)	11.2	12.0	11.7	-0.8	-0.5	やや遅い
葉色(SPAD)	37.3	37.2	36.9	0.1	0.4	平年並
葉色(葉色板)	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	平年並

※平年値:平成29年~令和5年までの値から最高・最低値を除いた平均値



草丈はほぼ平年並みまで近づいた。葉齢は依然として平年よりも少なく推移しているが、徐々に平年並みまで回復してきている。茎数は平年よりも少なくなった。幼穂の形成が確認された。葉色はほぼ平年並みで推移している。また、情報田では幼穂が確認されたが、6月19日時点の幼穂長は1mm未満であった。今年の出穂期は平年よりも遅くなる見込み。

3. 今後の管理について

(1) 水管理

- ・4 月中に移植された多くの圃場で幼穂形成始期を迎えています。幼穂形成期～穂ばらみ期は水を必要とするため、白乾状態とならないように注意しながら間断灌水を行いましょう。中干しが十分でない圃場では、落水期間を長くして地面を固めてください。
- ・5 月上旬以降に移植され、有効茎が確保された圃場は中干しに移りましょう。中干しは田面に軽い亀裂が入り、足を踏み入れば足跡がわずかに付く程度まで行います。梅雨入りの遅れにより降雨が続くため、水尻を開けて落水管理としてください。

(2) 病虫害防除

- ・イネクロカメムシが見られる圃場ではスタークル粒剤を散布してください。
- ・畦畔雑草は斑点米カメムシの増殖・飛来源となります。例年斑点米カメムシによる被害が見られる圃場では、出穂 10 日前まで(6 月末まで)に除草を行いましょう。出穂直前以降に除草を行うと、畦畔に生息する斑点米カメムシが圃場内に移動し被害が助長されます。除草後は収穫間際まで除草作業を見送るようにしてください。
- ・曇雨天が続き、いもち病が発生しやすくなっています。常襲田では田回りを行い発生に注意してください。いもち病が発生した場合はオリブライト 250G を散布してください。また補植用の置き苗はいもち病の発生源になるので早急に処分してください。



イネクロカメムシ

(3) 施肥管理

○コシヒカリ

- ・下位節間(第 4 節間)の伸長は出穂 23 日前頃から始まり、18 日前頃に最盛期となります。この時期に穂肥を施用すると節間伸長が助長され倒伏のおそれがあります。「コシヒカリ」のような倒伏に弱い品種は、この時期を経過した出穂 16～18 日前が穂肥施用時期です。

(参考:情報田平年値)

移植期:4 月 23 日 出穂期:7 月 10 日 穂肥施用時期:6 月 22～24 日

※圃場毎に生育ステージ・葉色・生育量が異なるため、下記穂肥診断基準を目安に穂肥施用時期と施用量を決定してください。

コシヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	26	23	20	18	15	12
幼穂形成始期からの日数	0	0～3	3～6	6～8	8～11	11～14
幼穂長(mm)	1	1～3	8～12	15～20	25～30	30～
草丈(cm)	～72	～75	～78	～80	～83	83～
穂肥施用時期				←→		

※幼穂長15～20 mmの時(出穂18日前頃)が穂肥施用時期。

穂肥診断をした時の幼穂長が1 mmの場合、その5日後に穂肥を施用する。

コシヒカリ穂肥診断基準(穂肥施用時)

葉色	葉色板		SPAD (値)	幼穂長 (mm)	出穂前 日数	施用量 有機入りBB454
	群落	単葉				
薄い	～3.0	～3.5	～34.0	2	24～25	15 kg/10a
	3.0～3.3	3.5～3.8	34.0～36.0	5	22	
標準	3.3～3.7	3.8～4.2	36.0～39.5	15	18	7～10 kg/10a
濃い	3.7～	4.2～	39.5～	15～	～18	施用しない

※穂肥施用時期の葉色(SPAD)が36.0～39.5、草丈が80 cm以下であれば、有機入りBB454を10 kg/10a施用する。

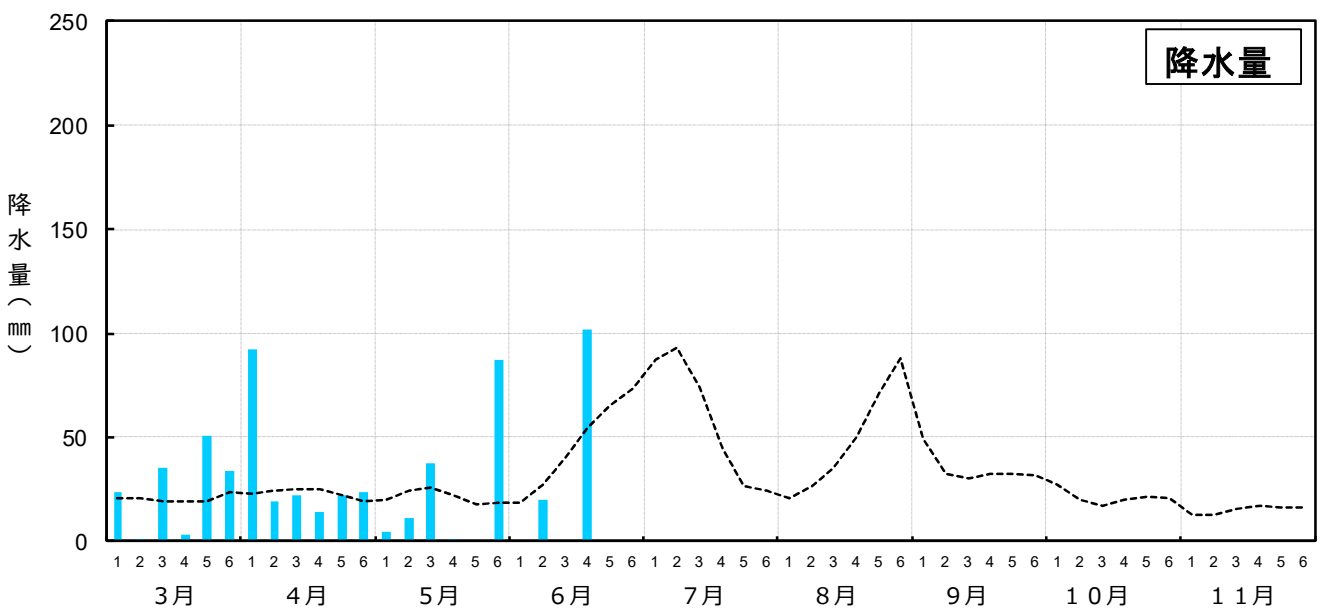
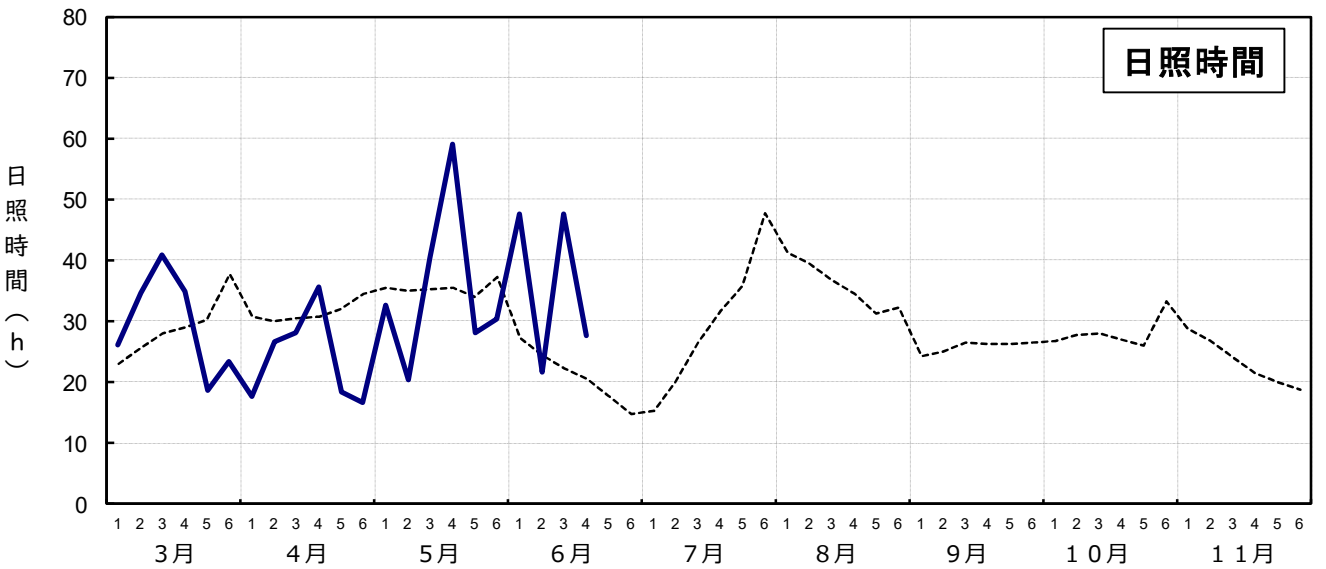
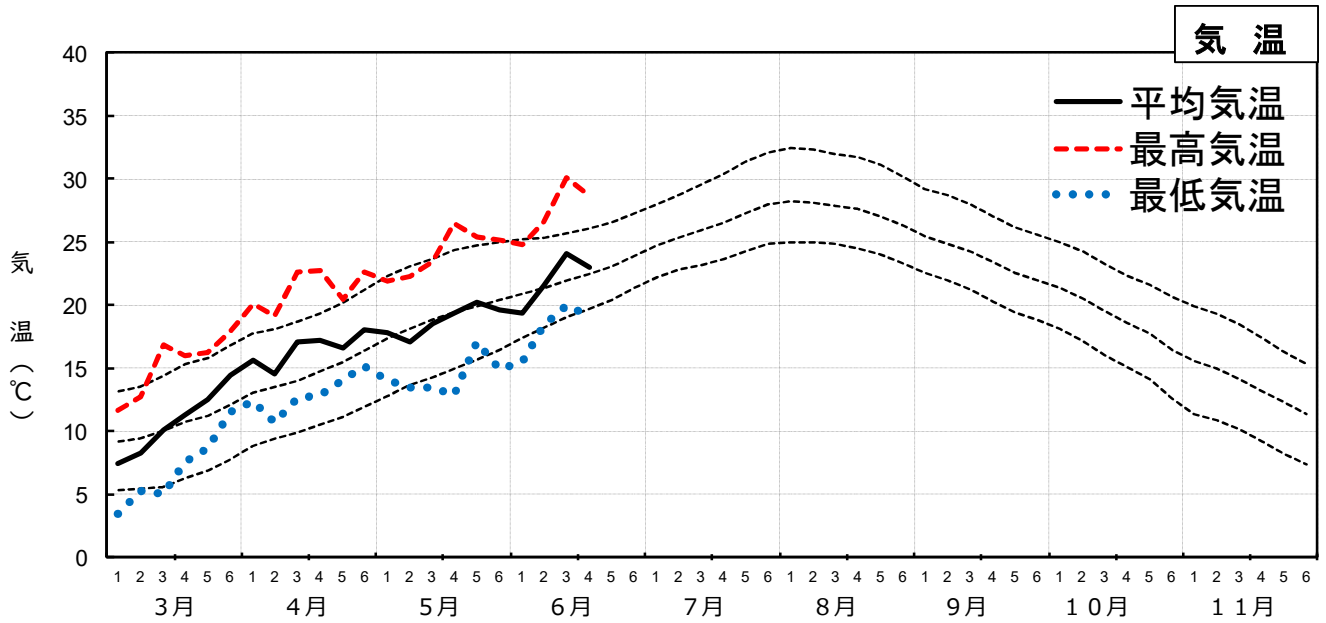
○つや姫

・「つや姫」は佐賀県特別栽培農産物の登録を受けるために、化学肥料由来窒素量の上限値(3.5 kg/10a)を守る必要があります。そのため、「つや姫」の穂肥にはなたねペレットを使用してください。なたねペレットは化学肥料と比べて窒素の肥効発現に時間がかかるため、早めに施用します。7月に入ると施用時期になりますので準備をお願いします。

(参考:令和2年度結果)

移植期:5月16日 出穂期:7月29日

令和6年産 水稲作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成22年~令和2年の平均値